

Dell Rugged Control Center

バージョン 4.3 ユーザーズ ガイド



メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: Dell Rugged Control Center の概要.....	4
章 2: Dell Rugged Control Center 4.3 の新機能.....	5
章 3: [ダッシュボード] へのアクセス.....	6
章 4: [プログラム] へのアクセス.....	8
章 5: [機能リスト] へのアクセス.....	9
章 6: [設定] へのアクセス.....	10
バーコード設定.....	11
Dell Scanner Module ドライバーのダウンロードとインストール.....	11
Dell Scanner Module with USB ドライバーのダウンロードとインストール.....	12
POS およびシリアル モードを使用した Dell Scanner Module with USB のセットアップ.....	12
バーコード スキャナーの設定.....	13
バーコード スキャナーの使用.....	13
外部バーコード スキャナーのトラブルシューティング.....	18
アンテナ スイッチ.....	19
章 7: プログラム可能なボタンとエッジ メニューのカスタマイズ.....	20
プログラム可能なボタンのカスタマイズ.....	20
アプリケーションの追加.....	21
URL の追加.....	21
キーボード マクロの追加.....	21
[機能リスト] からのプログラム可能なボタンのカスタマイズ.....	21
エッジ メニューのカスタマイズ.....	23
[機能リスト] からのエッジ メニューのカスタマイズ.....	24
章 8: BIOS でボタンをプログラムする方法.....	25
章 9: ポリシーの生成と配布.....	26
ポリシーの生成.....	26
ポリシーのダウンロード.....	26
ポリシーの配布.....	27
ポリシーへのアクセス.....	27
Rugged Control Center のダウンロード.....	28
Dell Rugged Control Center のインストール.....	28
章 10: Dell へのお問い合わせ.....	29

Dell Rugged Control Center の概要

Dell Rugged Control Center では、ミッションクリティカルなタスクをお使いの Rugged デバイスで優先し、簡単にアクセスできるようにします。これらのタスクには、プログラム可能なボタンやエッジメニューの設定、バーコードスキャナーの操作、WiFi や Bluetooth サービスの有効化および無効化などがあります。

また、Dell Rugged Control Center を使用すると、アプリケーションの設定、キーボードバックライト、夜間モード、ステルスモード、GPS 設定、アンテナスイッチなど、お使いの Rugged デバイスのさまざまな設定を行うこともできます。

Dell Rugged Control Center は、Latitude Rugged、および Latitude Rugged Extreme ノートパソコンおよびタブレットに事前インストールされています。アプリケーションを起動するには、Windows の [スタート] メニューを開き、Dell Rugged Control Center を検索します。

Dell Rugged Control Center は、[ダッシュボード]、[プログラム]、[機能リスト]、[設定]、[ポリシー] の 5 つの主要パーツで構成されています。

Dell Rugged Control Center 4.3 の新機能

今回のリリースでは、次の新機能および既存の機能に対するアップデートが提供されています。

- Windows 11 オペレーティング システムをサポートします。
- バーコード スキャナー機能が、同じ連続した数字を持つ出力桁をスキャンしてキャプチャするように強化されています。
- Rugged タブレットでサポートされている WWAN、WLAN、GPS アンテナの [切り替え可能アンテナ設定] 機能を強化しました。
- Edge メニューの名前が、[左メニュー、右メニュー] から [左 Edge メニュー、右 Edge メニュー] などというように変更されています。
- プログラム可能なボタンは、それをサポートするプラットフォームではデフォルトとして事前構成されています。

[ダッシュボード] へのアクセス

[ダッシュボード] セクションを使用して、ハードウェアおよびソフトウェアのコントロールを設定し、主要な Rugged デバイス機能にアクセスしたり、システム情報を表示したりできます。

[ダッシュボード] から、お使いのシステムに関するさまざまなタイプの情報を表示することができます。これには、お使いのシステムに接続されているバッテリーに関する情報、バッテリーを完全に放電するまでの残り時間、お使いのシステムと BIOS の詳細、お使いの Rugged デバイスで使用可能なハードウェア機能についての情報が含まれます。各セクションの詳細情報を表示するには、> をクリックします。

[ダッシュボード] で次のタブに移動するには、> と < を使用します。

また、[ダッシュボード] セクションから、プログラム可能なボタンやエッジメニューをカスタマイズすることもできます。ボタンをプログラムしたり、エッジメニューで機能を割り当てるには、EDIT PROGRAMMING をクリックします。詳細については、「プログラム可能なボタンのカスタマイズ」と「エッジメニューのカスタマイズ」を参照してください。

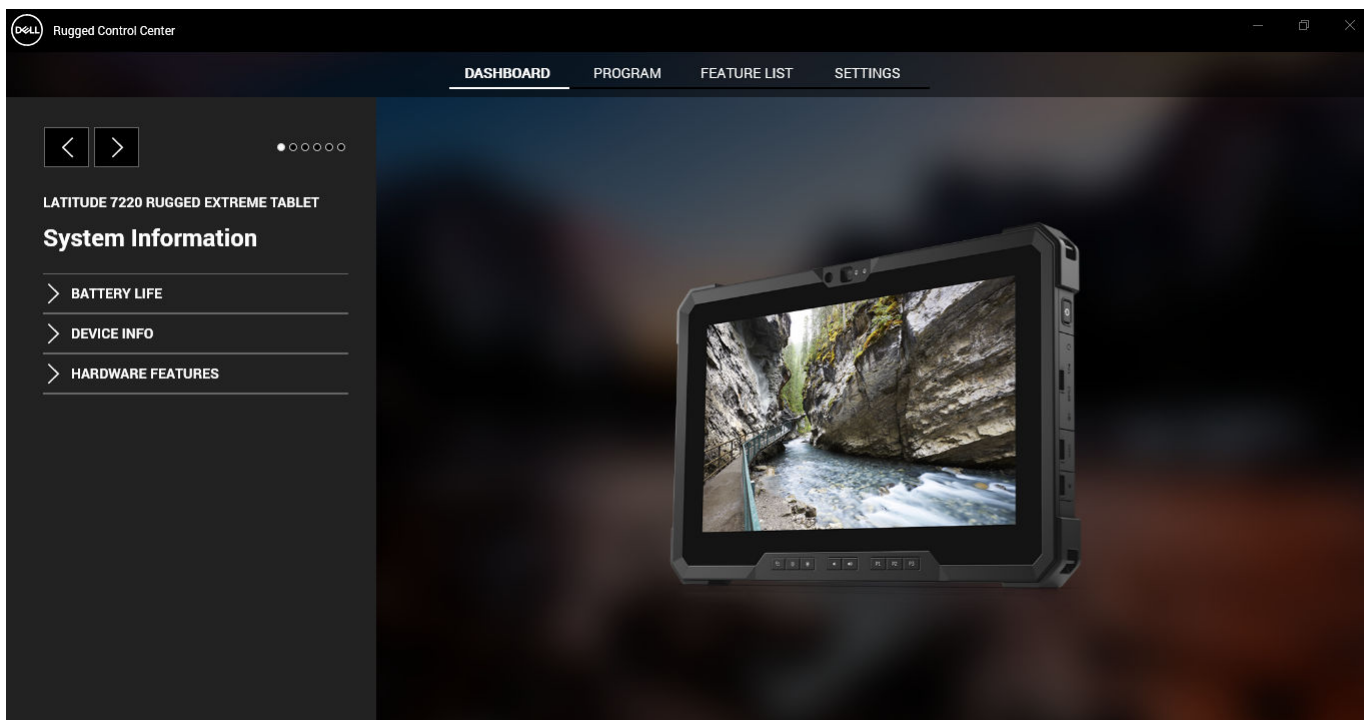


図 1. ダッシュボード



図 2. プログラム可能なボタン

[プログラム]へのアクセス

[プログラム]セクションを使用して、プログラム可能なボタンやエッジメニューをカスタマイズして、さまざまなツール、アプリケーション、モード、GPSなどにアクセスできます。また、GPSも設定できます。カスタマイズ後、それぞれのセクションで選択したオプションを確認できます。

メモ: GPSを機能させるには、お使いのシステムにU-bloxドライバーがインストールされていることを確認します。

[プログラム]セクションでは、次の項目を表示できます。

- プログラム可能なボタン
- 左エッジメニュー
- 右エッジメニュー
- 上エッジメニュー
- 下エッジメニュー
- GPS

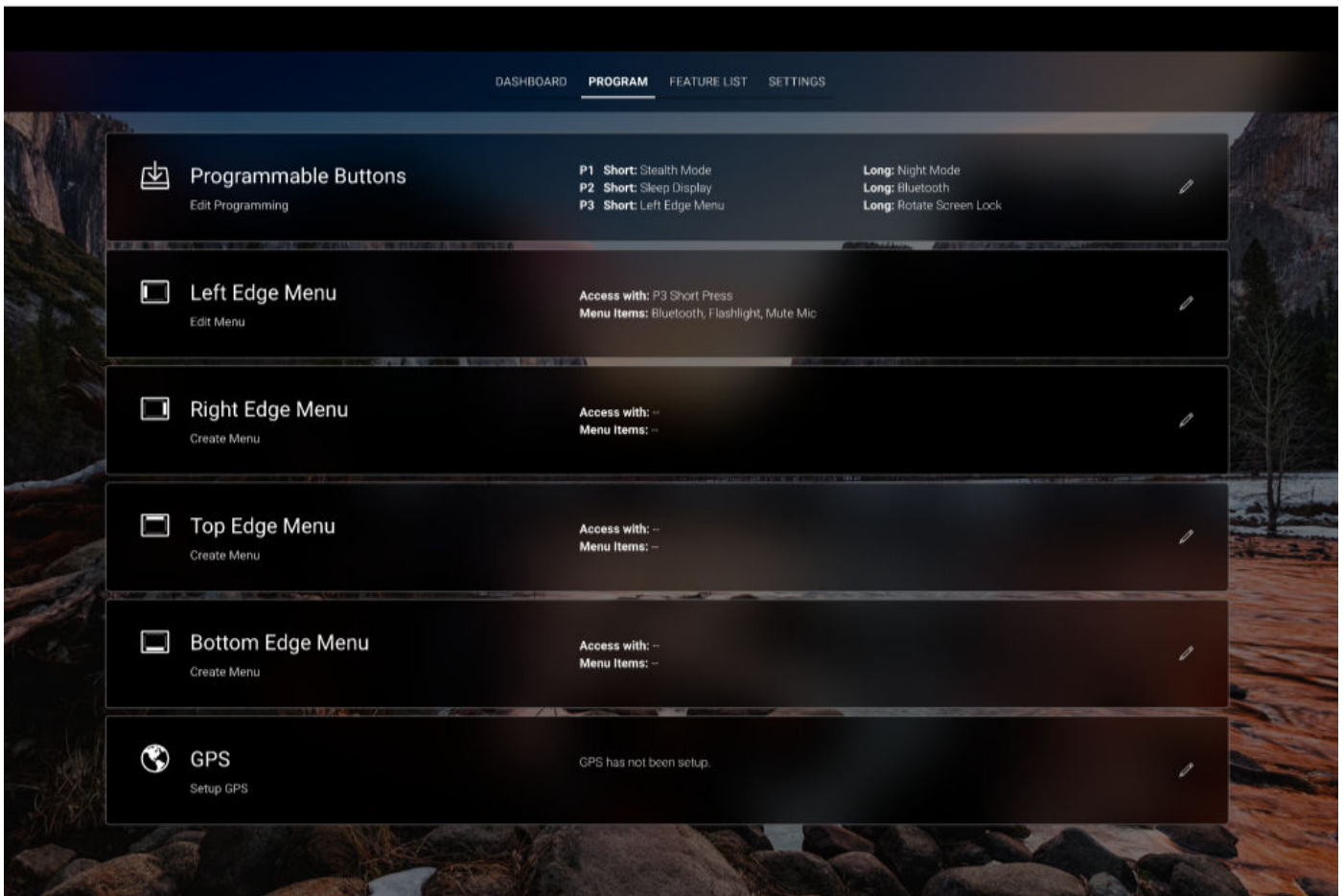


図 3. プログラム

[機能リスト] へのアクセス

[機能リスト] セクションを使用して、任意の機能を有効または無効にしたり、お使いの Rugged デバイスをプログラムしたりできます。トグル ボタンからステータスを変更したり、起動ボタンから機能を開いたり、適用ボタンから変更を行うことができます。

[機能リスト] セクションから、プログラム可能なボタンやエッジ メニューをカスタマイズすることができます。また、アプリケーション、リンク、キーボード マクロを追加し、プログラム可能なボタンやエッジ メニューに割り当てることもできます。

プログラム可能なボタンやエッジ メニューをカスタマイズする方法の詳細については、「[機能リスト] セクションからのプログラム可能なボタンのカスタマイズ」および「[機能リスト] セクションからのエッジ メニューのカスタマイズ」を参照してください。

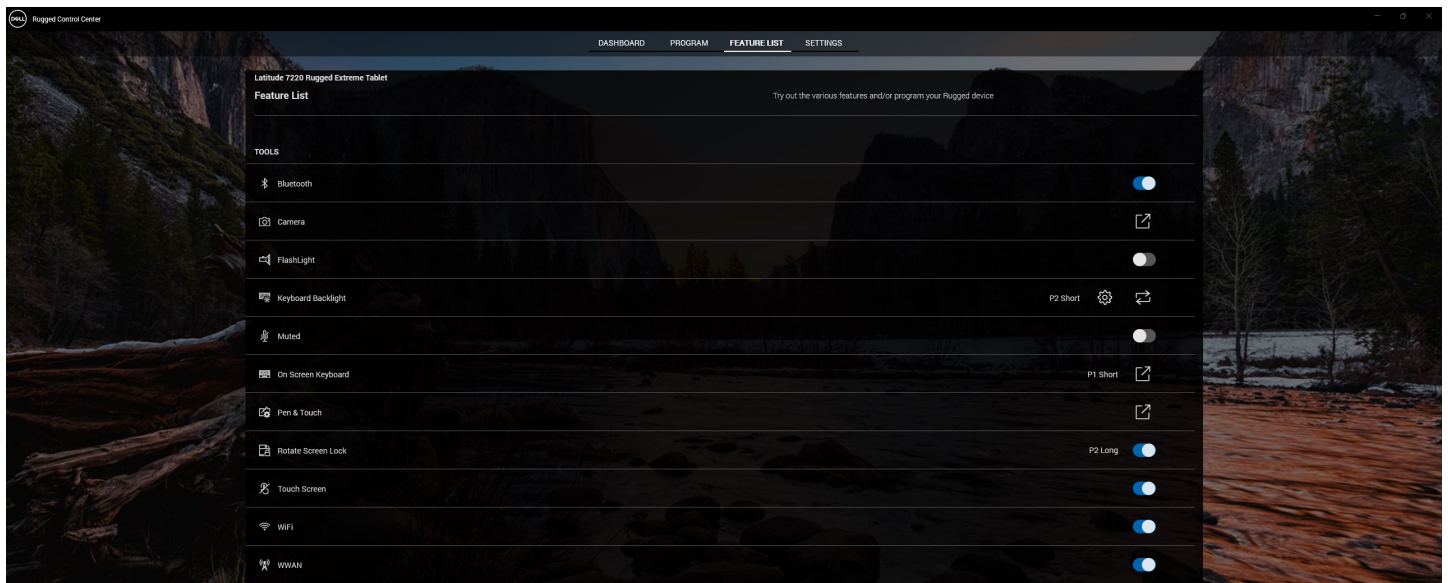


図 4. 機能リスト

[設定]へのアクセス

[設定]セクションを使用して、お使いの Rugged デバイス上でこのアプリケーションの設定を行います。これには、キーボードバックライトの管理、ステルスモードおよび夜間モードの有効化または無効化が含まれます。[設定]セクションでは、次の項目が表示されます。

- [アプリケーション設定] - この設定を使用すると、アプリケーションの基本設定を管理することができます。システム起動時のソフトウェア起動を有効または無効にしたり、最小化された状態でアプリケーションを起動したり、エッジメニューのサイズをカスタマイズしたり、エッジメニューのトリガー時間を選択したりすることができます。また、このセクションでは、テレメトリー取得オプションを有効または無効にすることもできます。
- [キーボードバックライト] — この設定を使用すると、[ダッシュボード]のこのウィンドウから、バッテリー電源時のバックライトのタイムアウトやキーボード輝度を含む、キーボードバックライトの設定を行うことができます。
- [夜間モード] — この設定を使用すると、モニターとバックライトに特別な設定を作成して、光が少ない状況での可視性を向上できます。
- [ステルスモード] — この設定を使用すると、ステルスモードを有効にしたときにどのシステム機能を無効にするかを決定できます。ステルスモードでは、1つのキーの組み合わせで、ディスプレイ、LEDライト、ワイヤレス、無線などをオフにすることができます。
- [アンテナスイッチ] — この設定を使用すると、ドッキングステーションに接続したときのアンテナの使用方法を決定できます。この設定は、Latitude タブレットにのみ適用されます。詳細については、「[アンテナスイッチ](#)」を参照してください。
- [バーコード設定] — この設定を使用すると、バーコードスキャナーの動作モードを選択できます。詳細については、「[バーコード設定](#)」を参照してください。

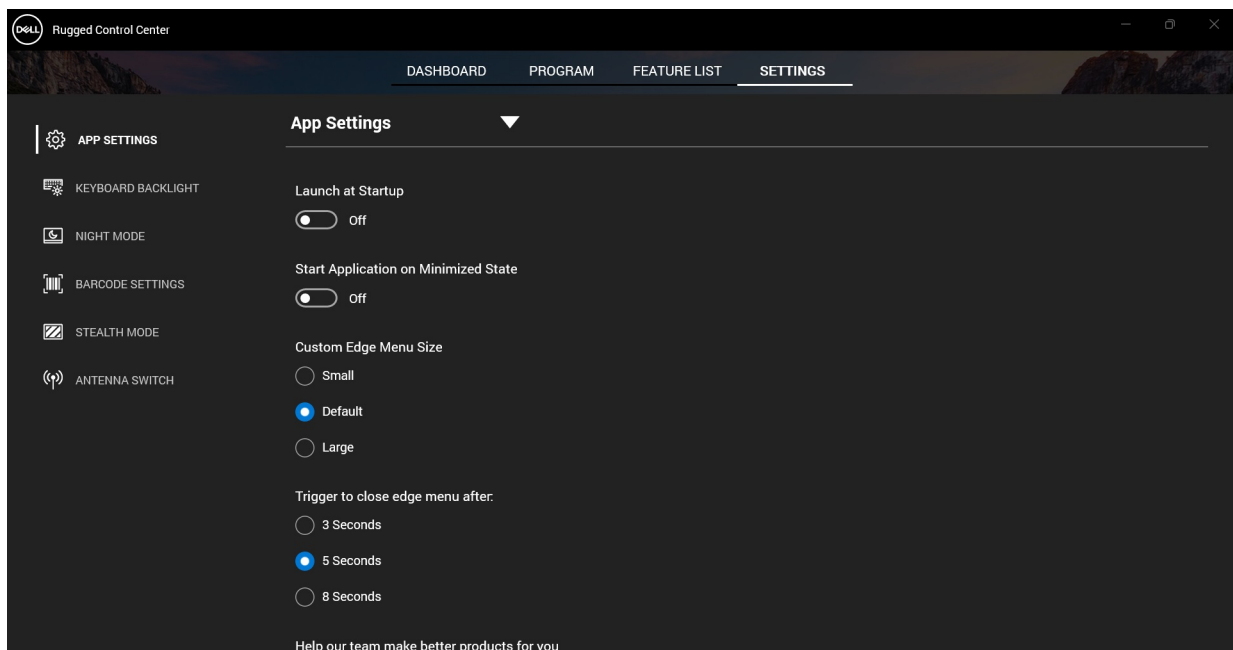


図 5. 設定

トピック：

- [バーコード設定](#)
- [アンテナスイッチ](#)

バーコード設定

バーコード機能を使用すると、バーコードに含まれている情報をキャプチャして読み取ることができます。Rugged Control Centerでは、外部スキャナーをお使いのシステムに接続したり、カメラベースのスキャナーを使用してバーコードをスキャンしたりすることができます。

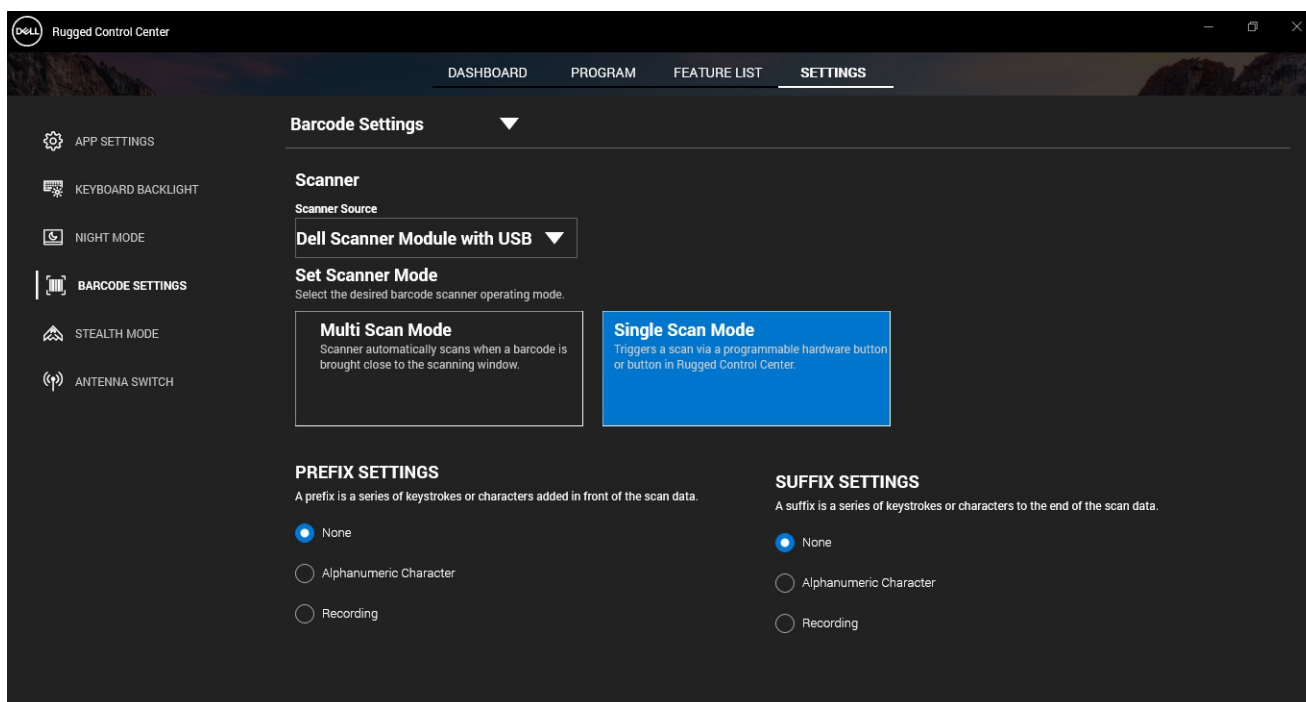


図 6. スキャナー

Dell Scanner Module ドライバーのダウンロードとインストール

前提条件

- お使いのオペレーティング システムが最新バージョンにアップデートされていることを確認します。
- ドライバーをインストールする前に、お使いのシステムにスキャナー モジュールを取り付けないでください。
- www.dell.com から、Dell Rugged Control Center アプリケーションをダウンロードしてインストールします。詳細については、「[Rugged Control Center のダウンロード](#)」を参照してください。

手順

1. [Dell Barcode and Magnetic Stripe Reader Module] ドライバーをダウンロードするには、www.dell.com/support にアクセスします。
2. [サービス タグ、シリアル番号、サービス リクエスト、モデル、またはキーワードを入力してください] 検索ボックスに製品名を入力します。
例えば、「Latitude 7220 Rugged Extreme タブレット」。
マッチした製品のリストが表示されます。
3. リストから該当の製品を選択します。
4. [ドライバーおよびダウンロード] をクリックします。
5. [Dell Barcode and Magnetic Stripe Reader Module] ドライバーをダウンロードします。
6. ダウンロードしたファイルをダブルクリックして、インストール ウィザードを起動します。
7. 画面の指示に従って、インストール プロセスを完了します。
[Dell Barcode and Magnetic Stripe Reader Module] ドライバーがインストールされています。
8. スキャナー モジュールをシステムに接続します。

Dell Scanner Module with USB ドライバーのダウンロードとインストール

前提条件

[Dell Scanner Module with USB] ドライバーをインストールするには、Rugged Control Center がバージョン 4.2 以降にアップデートされており、スキャナー モジュールが Rugged タブレットの背面に接続されていることを確認します。

手順

1. [Dell Scanner Module with USB] ドライバーをダウンロードするには、www.dell.com/support にアクセスします。
2. [サービス タグ、シリアル番号、サービス リクエスト、モデル、またはキーワードを入力してください] 検索ボックスに製品名を入力します。
例えば、「Latitude 7220 Rugged Extreme タブレット」。
マッチした製品のリストが表示されます。
3. リストから該当の製品を選択します。
4. [ドライバーおよびダウンロード] をクリックします。
5. [Dell Scanner Module with USB] ドライバーをダウンロードします。
6. ダウンロードしたファイルをダブルクリックして、インストール ウィザードを起動します。
7. 画面の指示に従って、インストール プロセスを完了します。
[Dell Scanner Module with USB] ドライバーがインストールされています。

POS およびシリアル モードを使用した Dell Scanner Module with USB のセットアップ

Dell Scanner Module with USB は、Rugged Control Center アプリケーションとのシリアル モード通信、および販売時 (POS) またはヒューマン インターフェイス デバイス (HID) モード インターフェイス通信をサポートします。シリアル モードでは、お使いのシステムにドライバーがインストールされている必要があります。ただし、POS モードはプラグ アンド プレイ デバイスとして機能します。POS モード通信はシリアル モードよりも低速であるため、シリアル モード通信を使用して Dell Scanner Module with USB をセットアップすることをお勧めします。



前提条件

スキャナーを接続した後、または通信モードを変更した後に、Rugged Control Center がシステムで実行中の場合は、必ず Rugged Control Center を再起動してください。

このタスクについて

スキャナーをセットアップするには、次の手順を実行します。

手順

1. デフォルトでは、スキャナーはシリアル モードに設定されています。
 **メモ:** スキャナーがシリアル モードに設定されていない場合は、ドライバーをインストールした後にバーコード  をスキャンします。
2. システムで [デバイス マネージャー] に移動し、[ポート] セクションを展開します。
3. [HoneyWell Gen7DB(COM xx)] を検索します。
4. [HoneyWell Gen7DB(COM xx)] を右クリックし、[プロパティ] を選択します。
5. [プロパティ] ウィンドウで、[電源管理] に移動し、[電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする] チェックボックスをオフにします。
6. [OK] をクリックして、[デバイス マネージャー] を閉じます。

POS または HID モード通信を使用してスキャナーをセットアップするには、バーコード  **PAP131** USB HID Bar Code Scanner をスキャンします。

バーコード スキャナーの設定

手順

1. システムを再起動して、Dell Rugged Control Center を起動します。
2. [設定] > [バーコードの設定] に移動します。
3. [スキャナー] に移動し、ドロップダウンメニューから次のいずれかの [スキャナー ソース] を選択します。
 - [Dell Scanner Module] — お使いのシステムに接続されている磁気ストライプリーダーのあるスキャナーを使用します。
 - [Dell Scanner Module with USB] — お使いのシステムに接続されている、USB ポートのあるスキャナーを使用します。
 - [背面カメラ] - 該当する場合は、システムの背面カメラを使用します。
 - [前面カメラ] — システムの前面カメラを使用します。


メモ: Dell Scanner Module、Dell Scanner Module with USB、およびカメラベースのスキャナーでサポートされているコードの種類を確認するには、サポートされているバーコードの種類を参照してください。また、[設定] セクションで、バーコードの種類を確認することもできます。
4. 次のいずれかのスキャナー モードを選択します。
 - [マルチ スキャン モード] — バーコードを連続して1つずつスキャンします。
 - [シングル スキャン モード] - 一度に1つのバーコードのみをスキャンし、終了します。
5. プレフィックスとサフィックスの設定で、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [なし] — スキャンされたデータを設定なしで表示します。
 - [英数字] — スキャンされたデータに追加する英数字を指定します。
 - [記録] — スキャンされたデータに追加するキーまたはキーの組み合わせを記録します。例えば、サフィックスの設定で [Enter] を記録し、スキャンしたデータをインラインとしてキャプチャします。

タスクの結果

バーコード スキャナーが設定され、[機能リスト] セクションに表示されます。

バーコード スキャナーの使用

手順

1. バーコード スキャナーを使用するには、次のいずれかの操作を実行します。
 - [機能リスト] > [バーコード] に移動し、 をクリックします。
 - [プログラム可能なボタン] または [エッジメニュー] に移動し、[バーコード スキャナー] を選択します。
[バーコード スキャナー] が起動します。
2. メモ帳、Excel、Word などの入力ソースを開き、バーコードをキャプチャします。

メモ: カーソルが入力ソースに配置されていることを確認します。
3. バーコードをスキャナーの前に配置します。
バーコードが入力ソースに取り込まれます。

サポートされているバーコードの種類

メモ: サポートされているバーコードの種類は、お使いのシステムによって異なります。

表 1. サポートされているバーコードの種類

バーコードの種類		Dell Rugged Tablet Scanner Module	Dell Barcode Scanner Module with USB	カメラベースのスキャナー
1D	UPC (UPC-A/UPC-E)	はい	はい	はい
	EAN (EAN-8/EAN-13)	はい	はい	はい
	Code 39	はい	はい	はい
	Code 128	はい	はい	はい
	Code 11	はい	はい	いいえ

表 1. サポートされているバーコードの種類 (続き)

バーコードの種類		Dell Rugged Tablet Scanner Module	Dell Barcode Scanner Module with USB	カメラベースのスキナー
	Code 93	はい	はい	いいえ
	MIS Plessey/UK Plessey	はい	はい	いいえ
	ITF	はい	はい	いいえ
	Codabar/Telepen	はい	はい	いいえ
	GS1 Databar (標準型/二層型)	はい	はい	はい
	Interleaved 2 of 5	はい	はい	はい
2D	QR コード	はい	はい	はい
	Micro QR	はい	はい	いいえ
	Datamatrix	はい	はい	いいえ
	PDF417	はい	はい	いいえ
	Micro PDF417	はい	はい	いいえ
	コンポジット コード	はい	はい	いいえ
	TLC-39	はい	はい	いいえ
	Aztec	はい	はい	いいえ
	Postal Code	はい	はい	いいえ
	Maxicode	はい	はい	いいえ
	Han Xin	はい	はい	いいえ
	Grid Matrix	はい	はい	いいえ
	DotCode	はい	はい	いいえ
	OCR	はい	はい	いいえ
	Digimarc	はい	はい	いいえ
メディア		はい	はい	いいえ

サポートされているコードの種類の詳細については、「カメラベースのスキナーでサポートされているバーコードの種類」および「外部スキナーでサポートされているバーコードの種類」を参照してください。

カメラ スキナーでサポートされているバーコードの種類

① | **メモ:** サポートされているバーコードの種類は、お使いのシステムによって異なります。

表 2. バーコードの種類

バーコードの種類	バーコード
Code 39	

表 2. バーコードの種類 (続き)

バーコードの種類	バーコード
Code 128	 1234567890
Databar Omnidirectional	 (01)12345678901231
Databar Stacked	
EAN-8	 1234 5670
EAN-13	 1 234567 890128
Interleaved 2 of 5	 12345678901234
UPC-A	 0 12345 67890 5
UPC-E	 0 123456 5

表 2. バーコードの種類 (続き)

バーコードの種類	バーコード
QRコード	

外部スキャナーでサポートされているバーコードの種類

Dell Scanner Module および Dell Scanner Module with USB では、次の種類のバーコードがサポートされています。

表 3. バーコードの種類

バーコードの種類	バージョン
1次元バーコード	
Code 39	標準
	フル アスキー
	Code 32/Italian Pharmacode
	Trioptic
Code 128	標準
	EAN-128
	ISBT-128
Codabar	標準
	Ames
Code 11	標準
	Matrix 2 of 5
	Chinese Matrix2 of 5
UPC/EAN	UPCA (アドオンあり/なし)
	UPCE (アドオンあり/なし)
	UPCE1 (アドオンあり/なし)
	EAN-8 (アドオンあり/なし)
	EAN-13 (アドオンあり/なし)
	JAN-8 (アドオンあり/なし)
	JAN-13 (アドオンあり/なし)
	Bookland/ISBN
	ISSN
Coupon Code	
2 of 5	Interleaved 2 of 5
	Discrete 2 of 5
	IATA

表 3. バーコードの種類 (続き)

バーコードの種類	バージョン
Databar	Omnidirectional
	有限
	拡張
	Databar Coupon
Code 93	該当なし
MSI	該当なし
UK Plessey	該当なし
Telepen	該当なし
2次元バーコード	
Postal Code	Australia Post
	Japan Postal
	Canada Postal
	Netherlands KIX Code
	US Planet
	USPS 4CB/OneCode/Intelligent Mail
	UPU FICS Postal
	Mailmark
	French Lottery
	Posti4S
	Korean 3 of 5
PDF	標準
	Macro PDF
Micro PDF	標準
	Macro Micro PDF
1次元+2次元バーコード	
コンボジット	CC-A
	CC-B
	CC-C
TLC-39	該当なし
マトリックスコード	
Aztec	標準
	Aztec Rune
Data Matrix	ECC 000-140
	ECC 200
	GS1 Data Matrix
QR	標準
	Micro QR

表 3. バーコードの種類（続き）

バーコードの種類	バージョン
	GS1 QR
Maxicode	該当なし
Han Xin	該当なし
Grid Matrix	該当なし
DotCode	該当なし
OCR コード	
OCR	OCRA
	OCRB (パスポート、トラベルドキュメント、ビザを含む)
	MICR
	US CurrencySerial Number
電子透かしコード	
Digimarc	該当なし

外部バーコード スキャナーのトラブルシューティング

このタスクについて

設定後、バーコード スキャナーが [設定] セクションに表示されない場合は、次の手順を実行します。

手順

1. 123Scan ユーティリティなどの外部スキャナーをダウンロードしてインストールします。
2. スキャナーを開き、ドライバーがアップデートされるまで待ちます。
3. ドライバーがアップデートされたら、[データ ビュー] タブに移動して、必要なスキャナーを選択します。スキャナーに関する詳細情報が表示されます。
4. スキャナーが機能しているかどうかを確認するには、[スキャナーのフラッシュ/ビープ] をクリックします。スキャナーからビープ音が聞こえます。
5. [Rugged Control Center] に移動し、[設定] セクションでバーコード スキャナーを確認します。

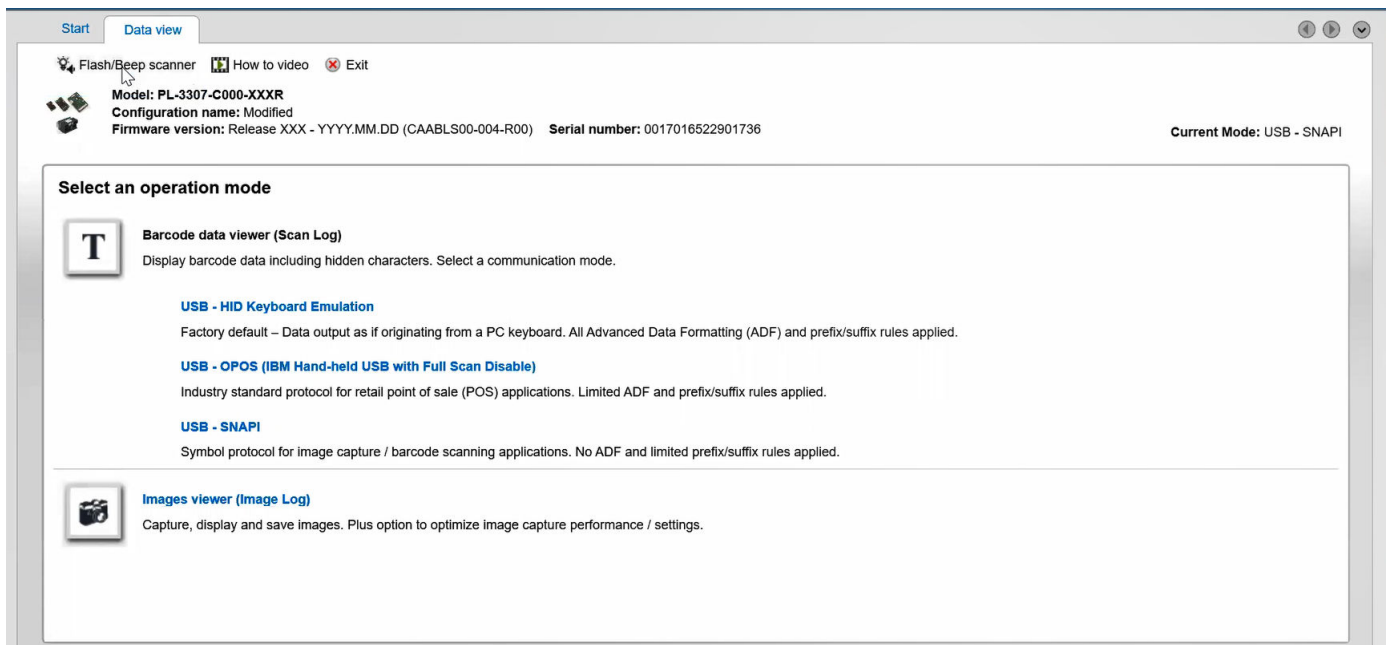


図 7. データ ビュー

アンテナ スイッチ

Latitude Rugged システムには、WLAN、WWAN、GPS などのアンテナ スイッチがあり、Rugged ドッキング ステーションに接続するアンテナを選択できます。

アンテナ スイッチ設定では、ドッキング ステーションやシステムなどのドッキング時に使用するアンテナを設定します。アンテナがドッキング ステーション アンテナに設定されている場合は、ドッキング ステーションを接続したときに、外部ドッキング ステーション アンテナを使用するように無線が切り替わります。アンテナがシステム アンテナに設定されている場合は、ドッキングされている場合でも、無線は内蔵システム アンテナを使用し続けます。ただし、システムがドッキング ステーションに接続されていない場合は、システム アンテナが使用されます。

メモ: この設定は、Rugged ドッキング ステーションに適用され、USB Type-C ドッキング ステーションには適用されません。

プログラム可能なボタンとエッジメニューのカスタマイズ

[ダッシュボード] セクション、[プログラム] セクション、または [機能リスト] セクションで、プログラム可能なボタンやエッジメニューをカスタマイズできます。

トピック：

- プログラム可能なボタンのカスタマイズ
- [機能リスト] からのプログラム可能なボタンのカスタマイズ
- エッジメニューのカスタマイズ
- [機能リスト] からのエッジメニューのカスタマイズ

プログラム可能なボタンのカスタマイズ

このタスクについて



 **メモ:** プログラム可能なボタンは、Dell Rugged タブレットでのみサポートされています。


プログラム可能なボタンは、さまざまな方法でカスタマイズすることができます。プログラム可能なボタンは、2種類のタッチ(短押し、長押し)をサポートします。各ボタンは、使用されるタッチの種類に応じて、最大2種類のタスクを実行するように設定できます。また、プログラム可能なボタンは次のように事前構成されていますが、これは必要に応じて変更できます。

- P1 短押し：オンスクリーン キーボード
- P2 短押し：キーボード バックライト
- P3 短押し：バーコード スキャナー
- P1 長押し：タッチ感度マネージャー
- P2 長押し：画面回転ロック
- P3 長押し：URL <https://delltechnologies.com/rugged> を開く

事前定義されたオプションを変更、およびプログラム可能なボタンをカスタマイズする場合は、次の手順を実行します。

手順




1. Dell Rugged Control Center を起動します。
2. 以下のいずれかを行います：
 - [ダッシュボード] セクションに移動して、 をクリックします。
 - [プログラム] > [プログラム可能なボタン] に移動し、 をクリックします。
プログラム可能なボタンをカスタマイズするセクションが表示されます。
3. 以下のいずれかを行います：
 - [P1 ボタン] に移動し、[短押し] ドロップダウンメニューをクリックして、必要なオプションを選択します。
 - [機能リスト] セクションに移動し、[プログラム可能なボタン] セクションに必要なオプションをドラッグアンドドロップします。
4. [保存] をクリックします。
短押しのメニュー項目が選択されています。

 **メモ:** [保存] をクリックするまで、プログラム可能なボタンは選択した設定で機能しません。

上記の手順に従って、プログラム可能なボタンでの長押しタッチを設定します。





アプリケーションの追加

手順

1. Dell Rugged Control Center を起動します。
2. [プログラム] に移動し、[プログラム可能なボタン] セクションを選択して、 をクリックします。
3. [機能リスト] セクションに移動し、アプリケーションを選択して、 をクリックします。
プログラム可能なボタンのオプションを含むドロップダウンメニューが表示されます。
4. 必要なオプションを選択して、[保存] をクリックします。
アプリケーションがプログラム可能なボタンに追加されました。
 **メモ:** アプリケーションが表示されていない場合は、[アプリの追加] をクリックし、必要なアプリケーションを選択して、
[開く] をクリックします。





URL の追加

手順

1. Dell Rugged Control Center を起動します。
2. [プログラム] に移動し、[プログラム可能なボタン] セクションを選択して、 をクリックします。
3. [機能リスト] セクションに移動し、リンクを選択して、 をクリックします。
プログラム可能なボタンのオプションを含むドロップダウンメニューが表示されます。
4. 必要なオプションを選択して、[保存] をクリックします。
リンクがプログラム可能なボタンに追加されました。
 **メモ:** 外部リンクを追加する場合は、[リンクの追加] をクリックし、URL を入力して、 をクリックします。


キーボード マクロの追加

手順

1. Dell Rugged Control Center を起動します。
2. [プログラム] に移動し、[プログラム可能なボタン] セクションを選択して、 をクリックします。
3. [機能リスト] セクションに移動し、キーボード マクロを選択して、 をクリックします。
プログラム可能なボタンのオプションを含むドロップダウンメニューが表示されます。
4. 必要なオプションを選択して、[保存] をクリックします。
キーボード マクロがプログラム可能なボタンに追加されました。
キーボード マクロが表示されていない場合は、次の手順を実行します。
5. [キーボード マクロの追加] をクリックします。
[キーボード マクロの作成] ダイアログ ボックスが表示されます。
6.  をクリックし、キーボードの組み合わせをキャプチャして、[停止] をクリックします。
7. キーボード マクロ名を入力し、 をクリックします。

[機能リスト]からのプログラム可能なボタンのカスタマイズ

手順

1. Dell Rugged Control Center を起動します。
2. [機能リスト] セクションに移動し、プログラム可能なボタンに追加する機能を選択して、 をクリックします。
プログラム可能なボタンのリストと、短押しと長押しのオプションが表示されます。
3. 必要なプログラム可能なボタンのオプションを選択します。

① | **メモ:** また、複数のプログラム可能なボタンに対して同じ機能を選択することもできます。

使用可能な機能リストと対応するアクションについては、次の表を参照してください。

① | **メモ:** 使用可能な機能は、お使いの Rugged デバイスのモデルによって異なります。

表 4. 機能リスト

カテゴリー	機能名	説明
ツール	Bluetooth	この機能を使用すると、Bluetooth をオンまたはオフに切り替えることができます。
	カメラ	この機能を使用すると、カメラを起動することができます。
	フラッシュライト	この機能を使用すると、フラッシュライトをオンまたはオフに切り替えることができます。
	キーボードバックライト	この機能を使用すると、キーボードのバックライトをオンまたはオフに切り替えることができます。
	ミュート	この機能を使用すると、マイクをミュートまたはミュート解除することができます。
	オンスクリーン キーボード	この機能を使用すると、オンスクリーンキーボードを起動することができます。
	ペンとタッチ	この機能を使用すると、ペンとタッチの設定を開くことができます。
	画面回転のロック	この機能を使用すると、画面回転をオンまたはオフに切り替えることができます。
	ワイヤレス	この機能を使用すると、ワイヤレスをオンまたはオフにすることができます。
	WWAN	この機能を使用すると、WWAN をオンまたはオフにすることができます。
	タッチスクリーンの無効化	この機能を使用すると、タッチスクリーンを有効または無効にすることができます。
モード	機内モード	この機能を使用すると、機内モードをオンまたはオフに切り替えることができます。
	夜間モード	この機能を使用すると、夜間モードをオンまたはオフに切り替えることができます。
	ステルスモード	この機能を使用すると、ステルスモードをオンまたはオフに切り替えることができます。
アプリケーション	Touch Sensitivity Manager	この機能を使用すると、Touch Sensitivity Manager アプリケーションを起動することができます。このアプリケーションは、タッチパネルがシステムのファームウェアと通信する際に役立ちます。Touch Sensitivity Manager を使用すると、Rugged 特有のタッチモードを切り替えることができます。

表 4. 機能リスト (続き)

カテゴリー	機能名	説明
	スクラッチ パッド	この機能を使用すると、スクラッチ パッドを開くことができます。
	バーコード	この機能を使用すると、バーコード スキャナーを起動することができます。
	Rugged Control Center アプリ	この機能を使用すると、Rugged Control Center アプリケーションを起動することができます。
	アプリの追加	この機能を使用すると、アプリケーションを追加することができます。
	切り取り & スケッチ	この機能を使用すると、スクリーン ショットをキャプチャし、注釈を付けることができます。
WINDOWS	バッテリー電源設定	この機能を使用すると、バッテリー設定を開くことができます。
	コントロール パネルを開く	この機能を使用すると、コントロール パネルを開くことができます。
	画面のロック	この機能を使用すると、画面をロックすることができます。
	プロジェクト画面	この機能を使用すると、プロジェクト画面をオンまたはオフにすることができます。
	タブレット PC 設定を開く	この機能を使用すると、タブレット パersonal コンピュータの設定を開くことができます。
	ディスプレイの回転	この機能を使用すると、お使いの Rugged システムのディスプレイを回転させることができます。
エッジ メニュー	左メニュー	この機能を使用すると、左エッジ メニューを起動することができます。
	右メニュー	この機能を使用すると、右エッジ メニューを起動することができます。
	上メニュー	この機能を使用すると、上エッジ メニューを起動することができます。
	下メニュー	この機能を使用すると、下エッジ メニューを起動することができます。
リンク	リンクの追加	この機能を使用すると、リンクを追加することができます。
キーボード マクロ	キーボード マクロの追加	この機能を使用すると、キーボード マクロを追加することができます。

エッジ メニューのカスタマイズ

このタスクについて

エッジ メニューを作成およびカスタマイズして、お使いの Rugged デバイスの機能にアクセスすることができます。エッジ メニューには、プログラム可能なボタンまたはキーボード ショートカットからアクセスできます。各エッジ メニューは、最大 5 種類のタスクを実行するように構成できます。これらのメニューは、次のように分類できます。



- 左エッジ メニュー
- 右エッジ メニュー

- 上エッジ メニュー
- 下エッジ メニュー

 **メモ:** これらのエッジ メニューは、現在 Windows タブレット モードでは使用できません。


エッジ メニューをカスタマイズするには、次の手順を実行します。


手順

1. Dell Rugged Control Center を起動します。
2. 以下のいずれかを行います：
 - [**ダッシュボード**] セクションに移動し、 をクリックします。
 - [**プログラム**] > [**左エッジ メニュー**] に移動し、 をクリックします。
[カスタム メニューの構築] ページが表示されます。
3. 以下のいずれかを行います：
 - [**機能リスト**] セクションに移動し、必要な機能を [**エッジ メニュー**] セクションにドラッグアンドドロップします。
 - [**左メニュー**] セクションに移動し、[**メニュー項目の追加**] をクリックして、ドロップダウン メニューから必要な機能を選択します。
4. 以下のいずれかを行います：
 - [**メニュー トリガーの選択**] セクションに移動し、左メニューにアクセスするためのプログラム可能なボタンを選択します。
 - エッジ メニューにアクセスするためのキーボード ショートカットを入力します。
5. [**保存**] をクリックします。
左エッジ メニューのメニュー項目が選択されています。

[機能リスト] からのエッジ メニューのカスタマイズ

手順

1. Dell Rugged Control Center を起動します。
2. [**機能リスト**] セクションに移動し、エッジ メニューに追加する必要な機能を選択して、 をクリックします。
エッジ メニュー オプションのリストが表示されます。
3. カスタマイズするエッジ メニューを選択します。
エッジ メニューのメニュー項目が選択されています。

 **メモ:** また、複数のエッジ メニュー オプションに対して同じ機能を選択することもできます。各エッジ メニューでは、最大 5 つの機能を設定できます。

BIOS でボタンをプログラムする方法

このタスクについて

お使いのシステムに Rugged Control Center がインストールされていない場合は、BIOS でプログラム可能なボタンをカスタマイズすることができます。

メモ: この機能は、BIOS バージョン 1.12.0 から利用可能になります。

プログラム可能なボタンをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

手順

1. システムを再起動し、F2 を押して、BIOS の [設定] に移動します。
2. BIOS の [設定] セクションで、[システム設定] に移動し、[プログラム可能なボタン] をクリックします。
プログラム可能なボタンをカスタマイズするセクションが表示されます。
3. [BIOS で設定] を選択し、次の手順を実行します。
 - a. P1、P2、および P3 の各ボタン アクションに移動し、説明ボックスにリストされている必要なオプションを選択します。
 - b. 設定を保存するには、[適用] をクリックします。
 - c. [終了] をクリックして、BIOS の [設定] ウィンドウを閉じます。
選択した設定でシステムが再起動します。

メモ: お使いのシステムで Rugged Control Center が実行されている場合、デフォルトでは [RCC で設定] が選択されています。

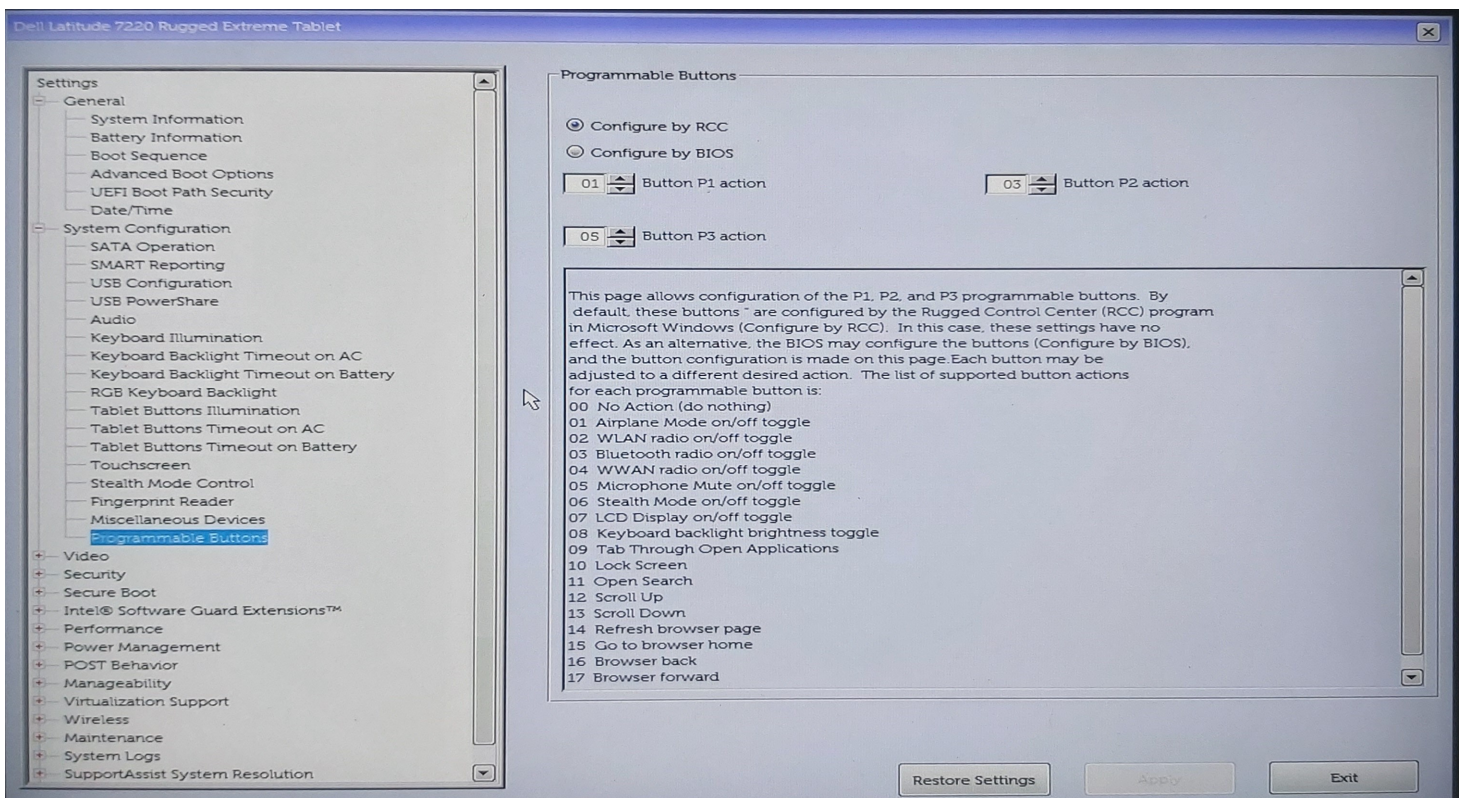


図 8. BIOS

Rugged Control Center からプログラム可能なボタンを設定するには、[アプリの設定] に移動して、[Rugged Control Center にボタンのプログラミングを制御させる] トグル ボタンを有効にします。

ポリシーの生成と配布

この章では、Dell Rugged Control Center の管理機能の詳細について説明します。Admin は、管理者グループのメンバーであるユーザー用に作成されたデフォルトのユーザー プロファイルです。管理者として Dell Rugged Control Center にログインすると、プログラム可能なボタンやエッジ メニューなど、特定の主要拡張機能をカスタマイズまたはロックすることができます。

トピック：

- ポリシーの生成
- ポリシーのダウンロード
- ポリシーの配布
- ポリシーへのアクセス
- Rugged Control Center のダウンロード
- Dell Rugged Control Center のインストール

ポリシーの生成

手順

1. Policy モードで Dell Rugged Control Center を起動します。
2. [コマンド プロンプト] を開きます。
3. コマンドラインで [start dellrcc:policy] と入力します。

i **メモ:** この機能は、管理者がこのアプリケーションを閉じると無効になります。

i **メモ:** 任意のユーザー モードでポリシーを生成できます。ただし、管理者はポリシーをクライアントに配布できます。

[ポリシー] セクションを使用すると、システム管理者は、特定の構成設定への個別ユーザーのアクセス権を有効または無効にすることができます。管理者はまた、[ポリシー] セクションですべての設定を制御またはカスタマイズすることもできます。ユーザーはこれを変更することはできません。

カスタマイズ後、ユーザーが設定を編集できる場合、カスタマイズされた設定はポリシーからインポートされず、ユーザーは必要に応じてこの設定を変更することができます。

ポリシーのダウンロード

このタスクについて

ポリシーをダウンロードするには、ポリシー モードになっていることを確認します。

手順

1. [ポリシー] セクションに移動して、[ポリシーのダウンロード] をクリックします。
ポリシーが %userprofile%\Downloads\Dell Rugged Control Center\RCCPolicySettingsProfile.json ファイルにダウンロードされます。
2. ファイルを開き、コンテンツをコピーして、Rugged Control Center テンプレート内のポリシーに貼り付けます。
ドメインに属していないクライアント マシンでポリシーを適用するには、RCCPolicySettingsProfile.json ファイルをクライアント マシンの各ディレクトリー (%program files%\dell\Rugged Control Center) にコピーします。

ポリシーの配布

このタスクについて

グループポリシーオブジェクトテンプレートをインストールするには、次の手順を実行します。

手順

1. RccGpo.msi インストーラー ファイルを実行します。
デフォルトでは、このインストーラーは%programfiles%\Dell\Rugged Control Center\gpo にインストールされています。
このテンプレートは、必要に応じて、%systemroot%\policydefinitions (local machine)または%systemroot%\sysvol\domain\policies\PolicyDefinitions(domain controller)に移動できます。
2. ダウンロードしたポリシーの.json ファイルを%userprofile%\Downloads\Dell Rugged Control Center\RCCPolicySettingsProfile.json から開きます。
3. コンテンツをコピーして、Rugged Control Center テンプレート内のポリシーに貼り付けます (GPO エディター内)。
4. ドメインに属していないクライアントマシンにポリシーを適用する場合や、GPO ポリシーを選択して使用する場合は、RCCPolicySettingsProfile.json ファイルを各クライアントマシンのディレクトリーにコピーします。クライアントマシンのデフォルトのディレクトリーの場所は、%program files%\dell\Rugged Control Center です。

ポリシーへのアクセス

このタスクについて

IT 管理者は、Dell Rugged Control Center を使用して、Rugged デバイスをプログラムし、プログラム可能なボタンおよびエッジメニューの事前設定を作成することができます。

また、[ポリシー] セクションでは、次の機能をカスタマイズおよびロックすることもできます。

- プログラム可能なボタン
- エッジメニューのプログラム
- アプリ設定
- キーボードバックライト
- 夜間モード
- ステルスモード
- バーコード設定
- GPS
- [クライアントローテーション] ボタンの無効化

機能がロックされると、ユーザーは変更できません。

① メモ: [ポリシー] セクションは、Dell Rugged Control Center が通常のオペレーションを行っているときには無効になります。
[ポリシー] セクションを有効にするには、管理者は policy パラメーターを使用してアプリケーションを起動する必要があります。詳細については、「[ポリシーの有効化](#)」を参照してください。

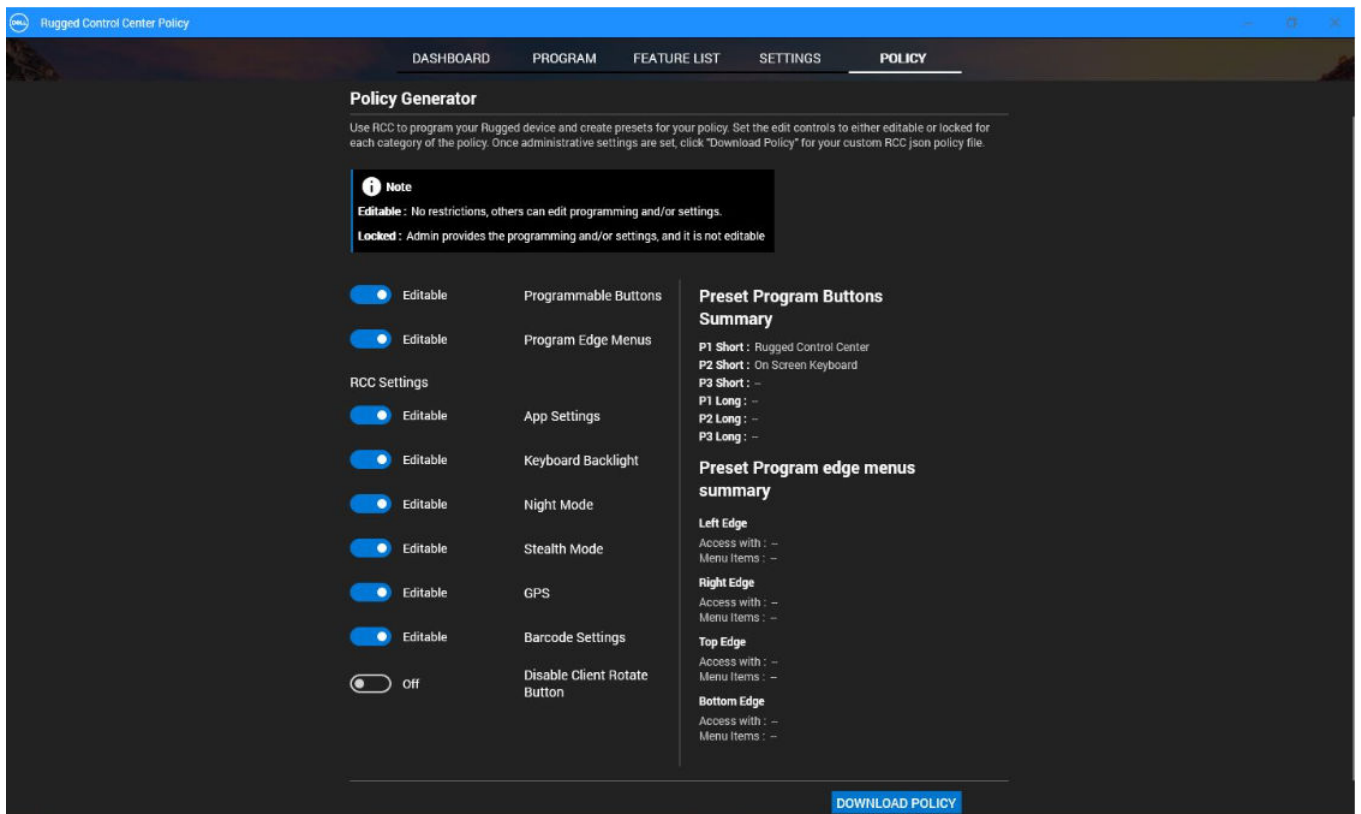


図 9. ポリシー ジェネレーター

Rugged Control Center のダウンロード

手順

1. www.dell.com/support にアクセスします。
2. [キーワード] フィールドにモデル番号を入力し、検索をクリックします。
例えば、[Latitude 7220 Rugged Extreme タブレット]。
3. [ドライバーおよびダウンロード] をクリックします。
4. Dell Rugged Control Center の最新バージョンをダウンロードします。

Dell Rugged Control Center のインストール

このタスクについて

Dell Rugged Control Center は、サポートされているすべてのシステムに事前インストールされています。このソフトウェアをアンインストールし、後に使いたくなった場合に再度インストールするには、次の手順を実行します。

手順

1. .msi インストーラー ファイルをダブルクリックします。
[セットアップ ウィザード] 画面が表示されます。
2. [次へ] をクリックします。
3. [インストール] をクリックします。
4. [はい] をクリックして管理者権限を付与し、インストール プロセスを開始します。
5. インストール プロセスが完了したら、[終了] をクリックします。
Dell Rugged Control Center のアイコンがデスクトップに保存され、このソフトウェアが [スタート] メニューから使用できます。

Dell へのお問い合わせ

このタスクについて

メモ: お使いのコンピューターがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、Dell 製品力タログで連絡先をご確認ください。

Dell では、オンラインおよび電話によるサポートとサービス オプションをいくつかご用意しています。これらのサービスは国/地域または地域および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。Dell のセールス、テクニカル サポート、またはカスタマー サービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

手順

1. www.dell.com/support にアクセスします。
2. サポート カテゴリを選択します。
3. ページの下部にある [国/地域の選択] ドロップダウン リストで、お住まいの国/地域または地域を確認します。
4. 目的のサービスまたはサポートを選択します。